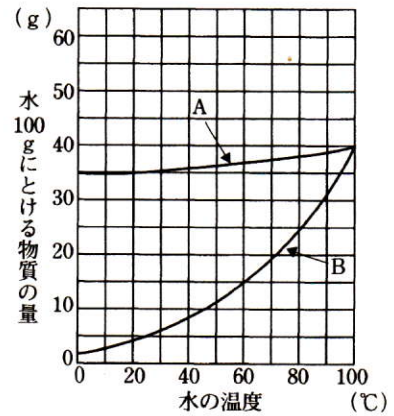


右のグラフは 100 g の水にとける物質Aと物質Bの量が、温度によって変化するようにあらわしたものです。次の問いに答えなさい。  
 グラフのAとBはそれぞれ食塩とホウ酸をあらわしています。



- (1) ほう和した水溶液を冷やしたとき、とけていた物質を結晶としてとりだしやすい物質はどちらですか。A Bの記号で答えなさい。
- (2) 60°Cでの水 50g に、物質Bを3gとかしました。この水溶液を 100°Cまであたためたとき、物質Bはあと何gとかすことができますか。
- (3) 60°Cで物質Bをほう和させたときの、水よう液のこさは何%ですか。答えは小数第1位までもとめなさい。
- (4) 100°Cの水100gに物質Bを15gとかしました。この水溶液を冷やしていくと、とけきれなくなって出てくるのは何°Cですか。
- (5) (4)の水溶液をそのまま40°Cまで冷やすと、とけきれなくなった結晶Bは約何gですか。下から選びなさい。

(ア)約5g    (イ)約7g    (ウ)約10g

(千葉日本大学第一中学校 改)